

目的 旧二小跡地への新たな拠点整備構想の検討段階から、跡地活用のあり方、市民ニーズ、アイディアを取り入れ、多くの市民の参画を得る。

参加者 第二学区住民及び中央児童館利用者 延べ125名

日程・内容	回	日 時	内 容	参加者数
	第1回	令和6年1月21日（日） 午前・午後の2回開催	・現状の魅力と課題の発見 ・旧二小跡地の活用アイディアを考える	計29名
	第2回	令和6年2月23日（金） 午前・午後の2回開催	・跡地の配置計画案の選定 ・活動と必要な部屋の広さ、レイアウトの検討	計34名
	第3回	令和6年6月8日（土） 午前・午後の2回開催	・計画案（8案）への意見収集 ・計画案のしぼりこみ	計29名
	第4回	令和6年7月30日（火） 18：30～の1回開催	・計画案（2案）への意見収集 ・まとめ	計33名

ワークショップで得られた配慮事項やアイディア （全4回の総括、中央児童館・遊び場に関連する部分を抜粋）

跡地の活用の方向性として、多世代が交流できる場、健康づくりの場、こども達が自由に遊びたくなる場にしたい等の意向やアイディアが確認できた。それらを実現するため以下の事項について配慮し、検討する必要がある。

●コミュニティセンターと中央児童館との間の空間

両施設の関係性を重視しており、交流・連携が図れるように、両施設の間の空間をイベントが開催できるような広場として整備することが望まれている。

●プレイパーク化などの敷地全体の活用

敷地外周を一周できるようなランニング・ウォーキングコースの整備や、こども達が自発的に遊びたくなる場所にしたいという意見が多く出されており、プレイパーク化に賛同が得られている。